

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年五月度 入選句（投稿総数二千百十八句・小中学投句数千四百十九句）

特選

選者 和田 勝子

たんぽぽのわたげ旅立つ希望のせ 大垣市 榎並 美月(小五)

たんぽぽは傘のように開いたわた毛で遠くへ飛んで、どんどん仲間を増していきます。作者は、登下校の折に、たんぽぽのわた毛の飛ぶ様子を見て詠まれたのですね。仲間を増やそうと飛んでいくたんぽぽのわた毛を見て、自分も進級して新たな希望・夢・友だち作りを頑張つていこうと詠まれたすばらしい句ですね。

眼前の緑の中に白き城 東京都品川区 木村 知聖(十三才)

とつてもさわやかな若葉の今の季節。お城の近くを散歩されていた時の様子を詠まれたのでしようね。前を見ると、木々の間から、白く輝くお城が眼にとびこんできたのでしようね。そのさわやかな感動を素直に表現されたすてきな句ですね。

鯉のぼりのびのび泳ぐ屋根の上 美濃加茂市 古賀 航成(中一)

さわやかな五月晴れの日、大きな鯉のぼりを見て詠まれたのでしょうか。男の子は「勇々と元気にたくましく成長してほしい」と願われているその家の方の気持ちと本人が鯉のぼりを見ての様子を素直に表現されていますね。「のびのび泳ぐ屋根の上」はすてきですね。

秀逸

こいのぼりぼくもいつしよにおよぎたい 大垣市 宮脇 快成(五才)

見上げればひこうき雲がどこまでも 美濃加茂市 後藤 久留弥(中二)

雨あがりふと見上げれば空に虹 美濃加茂市 石田 朋花(中二)

日焼け顔がんばってきた証だな 美濃加茂市 天池 ひより(中二)

あめんぼう水上およぎにんじやかな 大垣市 藤墳 紅羽(小五)

船下りコイの家族に仲間入り 大垣市 森井 太一(小五)

一りん車こいでるさきにかげろうが 大垣市 大橋 佑香(小四)

どうどうと空まいあがるこいのぼり 大垣市 金谷 莉奈(小六)

たんぽぽの子どもたちが旅にでる 大垣市 岡野 慎(小六)

風にのりたんぽぽのわた毛どこ行くの 大垣市 田中 一雅(小六)

入選

はるかぜにふかれてたびにしゅっぱつだ 大垣市 鈴木りゅうのすけ(小二)  
 さくらさきわたしももうすぐいちねんせい 大垣市 高木 果歩(小二)  
 こいのぼり波のかわりに風にのる 美濃加茂市 藤 吉 楓(中一)  
 ぽかぽかのあわい日ざしに花一輪 美濃加茂市 岩田 奈々子(中一)  
 しおひがりかおにすなつきたいりようだ 大垣市 たちかわ りこ(小四)  
 はざくらがたいようかくしゆらゆらと 大垣市 たにふじ ゆづき(小三)  
 はざくらはひかげをつくりそよそよと 大垣市 大橋 るい(小三)  
 かぜがふくわかばはゆれるのそのそと 大垣市 たかぎ こうさく(小三)  
 はざくらのあいだにさしこむ日ざしかな 大垣市 那須 春仁(小五)  
 かたつむりからだをのぼしはしわたり 大垣市 早川 莉里(小四)

入選

まえならえりんごの花がならんでる 大垣市 岩田 花林(小二)  
 ぽかぽかの日ざしに包まれ夢みてる 美濃加茂市 波多野 百映(中一)  
 木々の芽がそつと静かに花開く 美濃加茂市 堀部 なな美(中一)  
 田おこしで目覚めた巳はとびのえさ 美濃加茂市 福富 千陽(中一)  
 わたげとぶ新たな命ふわふわ 美濃加茂市 増子 稜人(中一)  
 公園で水遊びする子どもたち 大垣市 中村 ゆう菜(小四)  
 かしわもちあんこいっぱいはのにおい 大垣市 ながさわ まみ(小一)  
 たきの水空からのシャワーあびたいな 大垣市 かわせ もあ(小三)  
 およいでる風にふかれたわかばの葉 大垣市 富田 美咲(小三)  
 ゆっくりめ新入生と手をつなぎ 大垣市 岡安 こころ(小六)

選者吟

麦秋や鬼の頭の見え隠れ

勝子